

市長は市民の思いを一つにし、 先頭に立ってまちづくりを進めよ

本市は都市基盤の整備が進み、新しいまちづくりに向けて力強く前進している。その一方で、人口の減少や少子高齢化、市街地の空洞化、雇用情勢など厳しさが増しており、安心して暮らせるまち、住みやすいまちをどうつくっていくか、市長は市民に示すべきだとして、次のような質問があった。

**平成二十三年度一般会計
予算(案)とまちづくり**

市長の決意

問 平成二十三年度一般会計予算(案)編成に対する市長の決意を聞きたい。

答 財政健全化計画の目標年度を前倒しして、二十二年度決算において実質収支の黒字化が現実的なものとなった。

これまで各部局に配分していた限られた予算枠の中では実施が困難だった事業についても、本市が抱える諸課題に対応するための特別枠として計上し、重点的に取り組むこととした。

本市の新たなまちづくりへの第一歩を踏み出す積極的な予算を組めたものと考えている。

**三大プロジェクト等を
生かした本市の活性化策**

問 三大プロジェクト等の完成を間近に見る中で、本市の活性化にどう結びつけていくのか。



一部存続された朝夕の在来線特急

答 九州の中心に位置する本市の地理的優位性と合わせ、これらの都市基盤を広くPRしながら有効に活用し、市民の利便性の向上はもとより、定住人口の拡大や産業の振興、さらには交流人口の拡大を図っていく必要があると考える。

九州新幹線全線開業後における新幹線及び在来線ダイヤ

問 発表された新ダイヤに対する見解を聞きたい。

答 新幹線は新大阪直通のさくらが一日に上下計三本、新大牟田駅に停車し、在来線も朝、夕、夜間の特急存

続とともに快速が増便されるなど、利便性が一定確保されたと感じている。今後は利用者増に向け、本市の魅力を高めていきたい。

新幹線通勤・通学者に対する助成

問 本市への転入者に対する新幹線定期券運賃の補助制度が新設されるが、市内居住者に対する同様の制度は考えられないか。

答 本市への転入及び新幹線利用促進のために新設した制度であるため、転入者に限定した。

新大牟田駅へのレンタカー設置

問 柳川や山鹿方面への観光を見据えて、レンタカー設置は考えられないか。また、新玉名駅のように駐車場を無料にできないか。

答 レンタカー設置は、今後の乗降客の動向やニーズ把握に努めながら検討したい。無料駐車場は、民業圧迫や放置車両の問題等を勘案し、他市の状況も見ながら検討したい。

保育所施設の整備

問 保育所施設整備の年次計画を聞きたい。

答 市内の全認可保育所を対象とした意向調査の結果を受け、二十三年度に一カ所、二十四、二十五年度に各二カ所に対する補助を計画している。

交通基本法の必要性

市長の認識

問 移動権に対する基本的な考え方と、現時点における交通基本法の制定と関連施策の充実に向けた考えを聞きたい。

答 本市でも、バス路線廃止の申し出などの課題が生じている中で、交通体系の構築は重要だと理解する。

同法の必要性は十分認識しているが、国で議論の途上にあるため、今後の動向などを注視しながら、必要に応じた要望等を行ってきたい。